

2009年ハンブルク国際室内楽コンクール、2011年アルメレ国際室内楽コンクール、
2012年ウイグモア・ホール・ロンドン国際弦楽四重奏コンクール、2014年大阪国際室内楽コンクール優勝!

アルカディア・クワルテット

「ルーマニアのこのカルテットはヤナーチェクの音楽中の感情の爆発の数々を魂のこもった演奏で乗りきっていく。
…官能的なエクスタシー、異性への夢中な思い、存在の不安などが容赦なくぶつかり合う。そのどれもが胸に突き刺さる」
マルクス・シュテプラー 独FonoForum 2014年4月

「その演奏はそれだけの強さを持つ。…結果として、不安をかきたてるこの音楽の核心を貫いて、五感に襲いかかってくる。」
英FT紙 2013年9月



Arcadia Quartet

アナ・トローク (ヴァイオリン) / レスヴァン・ドウミトル (ヴァイオリン) / トライアン・ボアラ (ヴィオラ) / ツォルト・トローク (チェロ)

2014年の大阪国際室内楽コンクール、2012年のウイグモア・ホール・ロンドン国際弦楽四重奏コンクール、2011年アルメレ国際室内楽コンクール、2009年ハンブルク国際室内楽コンクールで優勝したアルカディア・クワルテットは、同世代で最もエキサイティングな弦楽四重奏団のひとつとしての地位を急速に固めている。

2006年にルーマニアのゲオルゲ・ディマ音楽アカデミーの学生により結成されたこのカルテットはこれまでに世界中で演奏を行っている。ブダペスト・スプリング・フェスティバル、ジョルジェ・エネスク国際フェスティバル、パリ国際芸術都市、フランクフルト・アルテ・オーバ、モントリオールのボラック・ホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ウイグモア・ホール、ポーランドのQ'arto Mondri Festival、パリのサル・ガヴォー、テルアビブ、ポルトガル、メクレンブルク・フォアポメルン・フェスティバル、メトラハ室内楽週間、オランダのザイスト・ミュージック・デイズ、更にはイギリス各地や北京など。2014/2015シーズンには日本国内で12回のコンサートを行ったツアーのほか、ウイグモア・ホール、ウィーンのエム・ミュージックフェライン、オールドバラ音楽祭、ベルリンのコンツェルトハウス、北ノーフォーク音楽祭、エネスク・フェスティバル、マドリッドなど欧州各地でのコンサートを行った。2015年3月にはウイグモア・ホールでのコンサートが放送されて英国BBC Radio3チャンネルへのデビューを果たす。また同年4月にはブカレストのナショナル・アート・センターTinerimea Romaの名誉ある〈カルテット・イン・レジデンス〉として招かれ、そこで年間6回のコンサートを行いルーマニア放送により放送された。

2016/2017シーズンはコンサート・ツアーで英国再訪の他、欧州各地で広く演奏を行う。イスタンブールのアルバート・ロング・ホール、

ベニスのSocieta Veneziana di Concerti, アカデミア・フィラモニカ・ディ・ポローニャ、ポルトガルのシステルムジカ・フェスティバル、ジョルジェ・エネスク・フェスティバル、ウイグモア・ホールなどで、更にドイツとルーマニアでコンサートが予定されている。

アルカディア・クワルテットのCDデビューは、2009年にFontenay Classics からメンデルスゾーンとブラームスの作品がリリースされたもので、批評家から絶賛されている。

「彼らの親密な演奏」「ひととき優れてよく響く音」
「聴き手に深い印象を残すパワフルな表現力」
独アンサンブル・マガジン誌

ヤナーチェクの弦楽四重奏曲第1番と第2番はオーキッド・クラシックスから2013年10月にリリースされている。

「心を射抜くすばらしさ」「両作品ともこの優れた若きルーマニアのカルテットにより焼けつくような激しさで演奏されている」
英サンデー・タイムズ紙

「とがった表現主義の雰囲気を作り出しており、その暴力的なスウィングとアクセントのつけられた半音階において、衝撃的なほどダイレクトでドラマティックである。まるでオペラのように、或いは悪夢のように」

「その結果として、不安をかきたてるこの音楽の核心を貫いて、五感に襲いかかってくる」
英フィナンシャル・タイムズ紙

2019年 日本ツアー公演記録

5/23 大阪:ザ・フェニックスホール	5/28 東京:三井住友銀行本店 東館ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン
5/24 名古屋:宗次ホール	5/29 横浜市鶴見区民文化センター・サルビアホール
5/26 横浜:港南区民文化センター ひまわりの郷	5/30 鳥取:米子市文化ホール
5/27 武蔵野市民文化会館	6/1 福岡:宗像ユリックス・ハーモニーホール

お問い合わせ / コジマ・コンサートマネジメント

TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539

URL ▶ <http://www.kojimacm.com> E-mail ▶ kojimacm@ops.dti.ne.jp